

学校の歴史

- 1872年(明5) 幡豆に郷学校ができる。鳥羽に義校ができる。
1873年(明6) 郷学校を西幡豆学校と改称する。鳥羽義校を鳥羽学校と改称する。
1882年(明15) 寺部学校が分離する。
1887年(明20) 寺部学校を合併する。
1892年(明25) 西幡豆尋常小学校と改称する。
1926年(大15) 幡豆第一尋常小学校と改称する。
1941年(昭16) 幡豆国民学校と改称する。
1947年(昭22) 幡豆町立幡豆小学校と改称する。
1948年(昭23) 幡豆小父母と教師の会が発足する。
1959年(昭34) 講堂ができる。
1962年(昭37) 西三指定、社会科研究発表会を行う。
1968年(昭43) 文部省指定、道徳研究発表会を行う。
1969年(昭44) プールができる。
1973年(昭48) 校舎改築工事が行われる。
1978年(昭53) 駐車場が舗装される。西三指定、研究発表会を行う。
1980年(昭55) 幡豆小学校保健委員会が発足する
1981年(昭56) P T A、付知北小へ交歓訪問を行う
1982年(昭57) 校訓碑が建立される
1983年(昭58) 矢橋式日時計が設置される
1984年(昭59) 幡豆小P T A便りが創刊される。藤棚が設置される
1985年(昭60) 体育館ができる 「えがおであいさつ」のシンボル塔ができる
1987年(昭62) 飼育舎ができる
1988年(昭63) 校内案内板が設置される
1989年(平元) 西三指定、社会科研究発表会を行う
1992年(平4) 夜間屋外照明が設置される
1996年(平8) 無事故0連続日数板を設置する。ヘチマ棚を設置する
1997年(平9) 「健やかな幡豆っ子を育てる会」ができる
1999年(平11) 西三指定、研究発表会を行う
2000年(平12) A E Tによる国際理解教育を始める。パソコン教室ができる
2003年(平15) 学校評議員会ができる
2004年(平16) 「地域で子どもを守ろう運動」が始まる
2005年(平17) 「子どもの幸福を考える会」ができる。特別支援教育を充実する
2006年(平18) 校舎耐震工事が行われる
2007年(平19) 食育実践研究・田んぼアート開始
2008年(平20) いのちを大切にする教育活動推進事業
2009年(平21) 大型テレビ設置。児童用パソコン設置
2010年(平22) 理科室実験机更新
2011年(平23) 合併に伴い「西尾市立幡豆小学校」となる
2013年(平25) 西尾市教育委員会委嘱による研究発表会を行う
～考える力を育む国語科と算数科の授業づくり～
2018年(平30) 西尾市学校保健会研究委嘱 保健活動優良校
2019年(令元) 普通教室エアコン設置